

「便潜血検査の大腸癌および上部消化管癌に対する診断能と 診断能に影響しうる因子に関する研究」

1. 研究の対象

便潜血陽性の精査目的に大腸内視鏡検査を施行した患者さん。

2. 研究目的・方法

目的：便潜血陽性例の大腸癌および上部消化管癌発見率と診断能に影響しうる因子を検討する。

方法：過去の検査記録からデータを収集し、解析を行う。

研究期間：2019年1月～2022年12月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名（大腸内視鏡検査、上部消化管内視鏡検査（施行例のみ））、年齢、性別、便潜血結果、内服薬、血液透析、便秘症、腫瘍マーカーなど

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター消化器内科

研究責任者：副部長 井上 拓也

電話 06-6692-1201 内線 7228